

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2017.04.No236

4月号

## 目次

平成29年 定時総会報告	1
地域貢献活動基金助成事業 ハルニレプロジェクトの報告	3
道士会の動き	4
Coffee Break	5
一級・二級建築士の祝賀会報告	6
実行委員会報告	7
information	8

URL <http://www.h-ab.com/>

## 平成29年(一社)北海道建築士会定時総会報告

### 定時総会開催 28年事業報告及び収支決算承認される。

日 時：平成29年3月24日(金) 14時30分～17時00分  
会 場：ホテル ポールスター札幌 2F メヌエット  
(札幌市中央区北4条西6丁目)

出席者：代議員 37名中 27名出席

#### 議 事

事務局より代議員の過半数が出席していることを報告し、総会の開催宣言の後、用田史門氏(苫小牧支部)が議長に選出され、また、議事録署名人として、池田浩司氏(札幌支部)と塩川顕児氏(網走支部)が選出された後、理事者側から第1号及び第2号議案の提案及び説明があり、逐次審議を行った結果、いずれも原案どおり可決されました。

事務局



#### 議 案

- [議案第1号] 平成28年 一般会計事業報告及び収支決算
- [議案第2号] 平成28年 特別会計事業報告及び収支決算
- [議案第3号] 平成28年 全国大会特別会計事業報告及び収支決算について

議案第1号及び2号の主だった内容は以下のとおり

#### 「議案第1号」

#### ◆平成28年 一般会計事業報告

#### 「委員会所管事項」

##### ◎ 総務委員会

- ・組織運営の適正化等に係る対応
- ・関係機関との意見交換会等の実施
- ・建築関係団体との連携
- ・専攻建築士制度等に関する事項  
申請：新規3名3領域、更新31名36領域、必要に応じ評議会等の開催

##### ・建築士会継続能力開発(CPD)制度の促進

- CPD参加登録者892名
- CPDプログラム審査評議会及び同部会の開催等
- 第41回(一社)北海道建築士会全道大会(室蘭大会)の開催
- 第59回建築士会全国大会(大分大会)の参加
- 表彰の実施、赤レンガ建築賞への共催等
- 会長表彰の実施・連合会会長表彰の推薦

##### ◎ 事業委員会

- ・新たな事業開催検討  
協賛事業「技術セミナー」の開催
- ・建築士会インスペクター養成講座の開催
- ・住教育等事業への協力について
- ・基礎ぐいの設計・施工の要点と「基礎ぐい工事監理ガイドライン」の解説講習会(DVD講習)の開催
- ・支部事業の活性化に向けた支援事業の検討

##### ◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」(221号～232号発行)
- ・ホームページの運用
- ・全道大会分科会「北海道建築士号外」発行

##### ◎ まちづくり委員会

- ・第6回まちづくりフォーラムin苫小牧開催
- ・「高校生建築デザインコンクール」86作品

- ・「高校生建築甲子園」5作品  
(名寄産業高等学校) \*奨励賞 受賞

- ・北海道からの景観整備機構指定
- ・連合会会議への参加
- ・全道大会分科会の実施

##### ◎ 青年委員会

- ・「全道青年委員会連絡会議」札幌市開催：参加者 59名
- ・「青年建築士の集い」富良野開催：参加者 83名
- ・「ブロック協議会活動」4ブロック協議会会議 計12回開催
- ・「青年サミット」室蘭市開催：参加者 94名
- ・「社会貢献活動」新さっぽろアークシティ サンピアザ光の広場で開催
- ・「建築士の日のイベント」【建築のお仕事体験】等  
参加者(一般市民)1,095名
- ・全道大会分科会の実施

##### ◎ 女性委員会

- ・各ブロック活動 勉強会・見学会等の開催を支援
- ・女性建築士の集い開催 室蘭市開催 参加者 30名
- ・全道大会分科会の実施
- ・連合会女性委員会委員派遣
- ・「地域における住教育実践推進事業業務」の実施  
①「建築士による家庭科住教育出張講座」10校実施  
②「建築士・教諭向けセミナー」2都市開催
- ・全国女性建築士連絡協議会への参加
- ・高齢者タスクフォース協力

##### ◎ 被災地応急支援委員会

- ・応急危険度判定ネットワークの構築
- ・応急危険度判定地区協議会への協力
- ・応急危険度判定訓練への参加 岩見沢市6名(会員)
- ・机上訓練の実施 苫小牧支部 20名 北見支部 27名
- ・HUG講習会の開催(女性委員会と共催)、札幌 参加者 31名

##### ◎ 会員増強特別委員会

- ・建築士試験合格者セミナー・授与式の開催

##### ◎ ヘリテージマネージャー特別委員会

- ・「ヘリテージマネージャー育成講習会」の実施  
修了者 ヘリテージマネージャー 14名  
ヘリテージコーディネーター 12名

◎全国大会（北海道大会）実行委員会

・函館市にて開催

『事務局所管事項』

・一級、二級、木造建築士試験の実施

試験種別	合格者(名)	合格率(%)	
		北海道	全国
二級	172	18.0	25.4
木造	2	20.0	35.5
一級	81	8.0	12.0

- ・一級、構造・設備設計一級建築士登録等の業務  
新規 96件 事項変更等 235件
- ・二級・木造建築士登録等の業務  
新規 143件 事項変更等 272件
- ・応急危険度判定士認定関係 12月末有効認定者数 2,848名  
応急危険度判定士認定講習会 16会場開催 受講者 722名
- ・建築士定期講習 13会場開催 受講者 574名
- ・監理技術者講習の開催 全道 6ヶ所：受講者 80名  
「第49回建築基準法講習会」開催  
全道 19ヶ所：受講者 1,324名

◆特別会計事業報告

- ・北海道建築士会地域貢献活動センター地域貢献活動基金事業助成  
札幌支部 事業名「札幌ハルニレプロジェクト」助成
- ・地域貢献活動事業の周知及び広報について  
各実行委員会と連携し、情報の収集に努めると共に全道大会  
室蘭大会に事業をパネル展示にて紹介
- \*各事業報告の後収支決算報告と、松崎監事による監査報告が行  
われた。

◆平成28年収支決算報告

貸借対照表

平成28年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	59,161,768	57,196,138	1,965,630
未収会費	35,000	237,600	△ 202,600
未収金	3,215,984	2,735,267	480,717
前払金	727,594	0	727,594
貯蔵品	1,106,964	850,628	256,336
立替金	295,580	404,380	△ 108,800
前払費用	330,185	425,940	△ 95,755
流動資産合計	64,873,075	61,849,953	3,023,122
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当資産	7,229,768	6,728,341	501,427
財政調整積立預金	45,795,914	46,844,693	△ 1,048,779
大会積立資産	0	3,500,000	△ 3,500,000
特定資産合計	53,025,682	57,073,034	△ 4,047,352
固定資産合計	53,025,682	57,073,034	△ 4,047,352
資産合計	117,898,757	118,922,987	△ 1,024,230
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,097,118	1,072,362	24,756
未払費用	82,976	1,143,647	△ 1,060,671
前受金	6,024,801	5,656,000	368,801
前受会費	19,077,200	18,713,400	363,800
預り金	1,439,820	1,253,031	186,789
流動負債合計	27,721,915	27,838,440	△ 116,525
2. 固定負債			
長期借入金	0	0	0
退職給付引当金	7,229,768	6,728,341	501,427
長期借入金	0	0	0
固定負債合計	7,229,768	6,728,341	501,427
負債合計	34,951,683	34,566,781	384,902
III 正味財産の部			
一般正味財産	82,947,074	84,356,206	△ 1,409,132
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(45,795,914)	(50,344,693)	△ 4,548,779
正味財産合計	82,947,074	84,356,206	△ 1,409,132
負債及び正味財産合計	117,898,757	118,922,987	△ 1,024,230

正味財産増減計算書

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

一般社団法人 北海道建築士会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会 費 収 益	65,871,860	66,932,568	△ 1,060,708
事 業 収 益	24,983,422	25,867,157	△ 883,735
受 託 収 益	19,518,085	21,516,820	△ 1,998,735
助 成 金 収 益	5,860,310	8,316,746	△ 2,456,436
退職給与引当金戻入	0	0	0
受 取 補 助 金 等	0	0	0
雑 収 益	29,420,531	28,392,842	1,027,689
経常収益計	145,654,208	151,026,133	△ 5,371,925
(2) 経常費用			
事 業 費	113,668,826	111,093,490	2,575,336
講 習 会 等 費	5,744,178	6,415,752	△ 671,574
二級・木造建築士登録等業務費	816,606	841,229	△ 24,623
継続能力開発制度費	371,332	468,377	△ 97,045
専攻建築士制度費	233,315	347,096	△ 113,781
その他事業費	3,377,288	3,754,601	△ 377,313
広 報 ・ 情 報 費	6,256,733	5,947,833	308,900
大会関係諸費	449,013	431,427	17,586
委員会活動費	12,098,645	12,903,835	△ 805,190
人 件 費	23,235,267	22,029,079	1,206,188
受 託 事 業 費	6,779,419	5,685,957	1,093,462
助 成 金	667,284	1,869,339	△ 1,202,055
需 要 費	21,130,309	20,873,984	256,325
雑 理 費	32,509,437	29,524,981	2,984,456
管 理 費	32,893,087	35,932,373	△ 3,868,486
人 件 費	4,178,024	3,088,132	1,089,892
会 議 費	2,927,212	3,407,375	△ 480,163
旅 費 交 通 費	6,438,049	7,978,195	△ 1,540,146
需 要 費	1,534,092	1,443,196	90,896
対 外 費	2,650,593	3,319,674	△ 669,081
雑 合 費	225,677	2,224,801	△ 1,999,124
連 合 会 費	14,110,240	14,471,000	△ 360,760
支 部 交 付 金	829,200		
経常費用計	146,561,913	147,025,863	△ 463,950
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 907,705	4,000,270	△ 4,907,975
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 907,705	4,000,270	△ 4,907,975
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
退職給与引当金繰入	501,427	1,345	500,082
経常外費用計	501,427	0	501,427
当期経常外増減額	△ 501,427	△ 1,345	△ 500,082
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,409,132	3,998,925	△ 5,408,057
一般正味財産期首残高	84,306,206	80,307,281	3,998,925
一般正味財産期末残高	82,897,074	84,306,206	△ 1,409,132
II 指定正味財産増減の部			0
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高		50,000	△ 50,000
指定正味財産期末残高		50,000	△ 50,000
III 正味財産期末残高	82,897,074	84,356,206	△ 1,459,132

◆報告事項

平成28年12月9日開催の平成28年第5回理事会において承認された平成29年一般及び特別会計並びに全国大会特別会計の事業計画及び収支予算について、各実行委員長及び事務局より主な内容を報告した。

◆東西アスファルト事業協同組合様へ感謝状を贈呈

総会前に平成28年に当会へ200万円の助成金をいただいた東西アスファルト事業協同組合様へ感謝状の贈呈式を行いました。

## 「札幌ハルニレプロジェクト」について

山崎 正弘 (札幌支部)



このたびは、私たちの活動である「札幌ハルニレプロジェクト」に対し、地域貢献活動基金からの助成をいただき、まことにありがとうございました。この場をお借りして、活動の経緯と今後の目標について報告させていただきます。

### ■活動のきっかけ

札幌市では、2014年に第1回目の札幌国際芸術祭を開催しましたが、その前年の2013年、プレフェスティバルイベントの一つとして、都市緑化ワークショップ（以降WSと表記）「札幌は森になれるのか？」（全6回）が行われました。これは、芸術祭のゲストディレクターの坂本龍一氏が提示したメインテーマ『都市と自然』を受け、フィールドワークをきっかけにして人間と自然が共生する新しい都市のかたちを模索するものでした。

このWSの中で、講師である「笠康三郎氏（(有)緑花計画代表）」が、札幌の町の形成過程における自然と人間の対話の内容と今も町中に残る開拓期以前の痕跡を次々と明らかにされました。



中でも、札幌のど真ん中といえる市民ホール前に、樹齢300年といわれる大きなハルニレが現存し、今は見ることのできない地下の水脈の位置を示していることに参加者全員が深い感銘を受けました。

このため、予定されていたWSの内容を変更し、ハルニレを原点にした『都市と自然』のあり方を

検討することになり、翌年3月の報告会で次のような成果を発表しました。

### 《参加者から提案するパブリックアートプロジェクト》

◆守る 保護と鑑賞のための環境づくり

◆伝える 魅力の発信

◆育てる 創世1.1.1区（さんく）の再開発地区から、町中に広がる「ハルニレの葉紋」

これは、開拓使が札幌に移転する150年以上前から、この地の営みを見守り続けた市民ホール前のハルニレを通して、札幌の過去・現在・未来と自然環境、私たちの生活について学び、新たなパブリックアートを創るものでした。

### ■その後の活動の経緯

WS直後、「札幌ハルニレプロジェクト」（代表：笠氏）を始動し、2014年から2015年にかけて、次の事業を展開してきました。

・落下するタネを受け止めるシードトラップを設置し、子孫となるたくさんのタネを採取。



・キックオフフォーラムを実施、参加者に採取したタネを配布。（2014.6.7）

・夏休みキッズWS「ハルニレと共に生きる私」を開催。参加した子供たちが、このハルニレと共に生きていく、私たちの将来の姿を描き、これを芸術祭の期間中資料館に展示。（2014.8.9）

・SIAF関連事業の場で笠代表がこのプロジェクト内容を発表。

・私たちの活動を知った私立札幌静修高校放送部による高文連参加作品「札幌のチャチャ」に制作協力。

・SIAF（旅プロジェクト）の一行がハルニレを訪問。

・市立大通高校で行われた「ユネスコスクール世界大会」の北海道地区交流会参加者（4ヶ国16名）によりハルニレの子孫第1号を記念植樹。（2014.11.4）

### ◆助成金による活動

2016年、北海道建築士会地域貢献活動基金から助成を受け、以下の活動を行いました。

・創成川公園狸二条広場に、第2号の植樹。（2016.4.15）

・シードトラップの様子をNHKの夕方のニュースで中継。（2016.6.15）

・札幌市市民活動サポートセンターの「こどもボランティア体験隊」が、ハルニレの苗の観察や草取りに参加。（2016.8.5）



・ハルニレの苗50本あまりを、育成圃場に移植。

### ■今後の活動について

これまでの活動で、札幌の町の成り立ちを見守ってきた1本のハルニレが市の中心部に現存することが、少し知られるようになりました。さらに、今回の助成により、ハルニレと町の歴史をまとめたリーフレットや冊子も出来ました。

ハルニレの由緒正しい子孫も、約50本すくすくと育っています。（樹高1m程度）

今後も、これらを活用し〈守る・伝える・育てる〉活動を引き続き行っていきます。

※この由緒正しいハルニレを植え、札幌のまちづくりに貢献したい方は、下記までご連絡ください。

harunire.sapporo@gmail.com



## 改正宅建業法に基づく 「既存住宅状況調査技術者講習」予告

国土交通省は、既存住宅が資産となる「新たな住宅循環システム」を構築するため、「既存住宅状況調査技術者講習制度」を創設いたしました。これは、既存住宅の調査の担い手となる技術者の育成を進めることにより、宅地建物取引業法の改正に基づく建物状況調査（インスペクション）の促進や既存住宅売買瑕疵保険の活用等とあわせて、売主・買主が安心して取引できる市場環境を整備し、既存住宅流通市場の活性化を推進していくことを目的としたものです。

講習登録規程に基づく本制度は、国の登録を受けた講習機関が建築士に講習を実施し、この講習の受

講を修了した建築士が調査方法基準に基づき調査を適正に実施するものです。本制度について、日本建築士会連合会が国土交通省の登録機関となり、北海道でも「既存住宅状況調査技術講習会」を開催できる見込みとなりましたのでお知らせいたします。

5月下旬より札幌から順次、函館、苫小牧、旭川、帯広、釧路、北見での開催を予定しています。

詳細は、会誌「北海道建築士」への掲載及び4月中旬よりホームページ等によりお知らせしますのでご確認ください。

### 道本部の主な会議報告（3月）

#### 第1回事業委員会

〈開催日〉3月1日(水)

- 〈議題〉
- 1) 平成28年事業報告・収支決算及び平成29年事業計画(案)・収支予算(案)について
  - 2) 「防水技術セミナー2017 in札幌」の開催について
  - 3) 基礎ぐい講習第二弾「杭基礎の正しい設計・施工」講習会(DVD講習)の開催について
  - 4) 建築士会インスペクター養成講座の開催について
  - 5) 建築技術講習会テキストの「在庫販売」について
  - 6) その他

#### 第1回被災地応急支援委員会

〈開催日〉3月4日(土)

- 〈議題〉
- 1) 平成29年事業計画について
  - 2) 応急危険度判定机上訓練について
  - 3) 防災マニュアル作成について
  - 4) その他

#### 第1回理事会

〈開催日〉3月13日(月)

〈議題〉 ※議題はすべて承認済み

- 1) 平成28年一般会計収支予算の補正及び流用(案)について
- 2) 平成28年一般会計事業報告及び収支決算(案)について
- 3) 平成28年特別会計事業報告及び収支決算(案)について
- 4) 平成28年全国大会特別会計事業報告及び収支状況(案)について(監査報告)
- 5) 平成29年定時総会の開催(案)について
- 6) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)について

### 道本部の主な行事予定（4月）

8日(土)

第1回情報委員会

15日(土)

第1回青年委員会WEB会議

## 第7回 高校生の「建築甲子園」

### 北海道名寄産業高等学校 奨励賞「はじめの一步」表彰状授与式の様子



2月24日、中澤理事(旭川)より監督と4人の選手に表彰状が授与されました



模型はプロ並みの出来映え!!

## 札幌支部

## 札幌支部女性委員会設立に向けて



札幌支部総務委員会女性小委員会 委員長

新海 直美

近年、国を挙げて女性の活躍促進についての動きが叫ばれています。平成26年8月に国交省より『もっと女性が活躍できる建設業行動計画』が策定されましたし、平成27年8月には女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）が国会で成立しました。色々調べていくと、首相官邸には「すべての女性が輝く社会づくり本部」というものまでできているようです。そんな流れの中、建設業で働く女性を「けんせつ小町」、女性のトラックドライバーを「トラガール」、土木の現場で働く女性を「ドボジョ」などと呼んだりして、建築業界でもあれやこれやと動きがあるようです。

しかしながら、これまでたくさんの女性建築士や友人、仕事仲間を見ていて、女性だから活躍出来ないかというところという印象はそんなにはありません。私自身の話になりますが、11年前に建築士会に入会してまもなく、本部の女性委員会に所属しました。そのため、道内各地の女性会員の活動を目にする機会が多くあり、その度に「皆さん勢いがあるな！すごいな！」と元気をもらいました。全国へ目を向けると、連合会の女性委員会では全国女性建築士会連絡協議会が開催されています。各地の女性建築士が、時には500名程集まって活動の報告をしています。初めて参加した時は「活躍している女性建築士が全国にこんなにもいるんだ！」と圧倒されました。

業界には女性の割合が少ないので、活動はしていても多くの人目に触れることが少なかったりして、あまり大きな活躍として捉えられないところはあるのかもしれませんが、輝いている人はたくさんいます。（ちなみに北海道建築士会会員数4015名の内、女性会員数は242名となっています（H29.01現在））

時には悩んでいる声も聞きますが、様々な状況の中でも前向きに活動されている方が多いように感じます。もちろん、女性ならではの視点や共感できる部分は間違いなくあり、その事について話をしたりもしますが、悲観的というよりは、想いを共有

して吹き飛ばしてしまおうというような明るさがあるように思います。

北海道建築士会の中では小樽・旭川・釧路・北見の各支部に女性委員会があります。札幌支部には女性委員会がなかったのですが、ここ数年、住教育セミナー等で女性会員の活動が活発になり、本部の女性委員会と連動をした動きもあるので、支部でも体制を整えてはどうか？ということで、平成26年に総務委員会の中に10名程の女性会員で女性小委員会が作られました。これまで「避難所HUGの研修会」、「藤女子高校でのインテリアセミナー」「スケッチパース講習会」などを開催してきました。

現在、来年度から女性委員会として独立すべく設立目的や所管事項などが検討されています。女性小委員会のメンバーには子育てから復帰した人、独身の人、親の介護をした人、会社員、自営業者など多様な境遇の女性会員がいますが、話し合いの中で出てきたキーワードは＜暮らし・心豊かな過ごし方・子供・介護・子育てからの復帰・孫・住教育＞など女性ならではの視点だと思われるものが多く、やってみたい活動となると＜片付け・収納・終活・住み替え・減築・障がいについて＞など生活に寄り添うものが多く聞かれました。

今後、子育てや介護をする男性ももっと増えてきて、これまで女性が役割を担ってきたことが性別関係なく経験をする社会がやってくるでしょうし、多様な働き方をする女性も多くなりそうです。その時、これまでの経験者の声が聴ける場はもっと必要になるのではないかと思います。

「女性委員会」という名前についても議論はあったところですが、「女性」という言葉に含まれる歴史が委員会の目的には沿っているのではないかとということでストレートに「女性委員会」でいきたいと思いますということになりました。決して女性だけで集まって何かする。ということではなく、女性の視点でこれまでやってきたことを活かす委員会というように思って頂けると嬉しいです。

これから、色々活動をしていきたいと考えていますので、興味のある活動を見かけましたら、性別関係なく是非是非ご参加下さい！

## 岩内支部

## 最近の岩内支部



支部長

上野 憲之

平成28年に岩内支部の支部長に任命され、1年とチョットが過ぎました。せっかく支部長になったのだから、まず会員全員を知ろうと思い、メール、TEL調べに時間を費やし、1年たつてなんとなく会員みんなを把握する事が出来ました。（会員は27名）昨年度は会員が2名増え、しかも2名共、年齢的には青年部です。（年齢制限はなかったかも。）一人は岩内町役場の建築係長です。役所の方が入会してくれた事で、少しでも建築士会入会へのアピールになってくれれば、と思っています。

岩内支部のエリアは岩内、共和、泊、神恵内、寿

都、島牧です。晴れた日は海から島牧以外は見渡せます。写真は岩内の海岸から見た泊発電所です。再稼働にはまだまだハードルがあるようです。

岩内支部の活動といえば、建築士の日のDIY体験会、暮れの親睦会くらいで、参加する方もほぼ固定されています。今年はお隣の後志支部で全道大会が開催されるので、お手伝いなどを通じて支部活動が活発になれば、と願っております。また、来年は岩内支部設立30周年になりますが、全員参加出来るような行事で盛り上げたいと思っています。



岩内の海岸から見た泊発電所

## 「重責」と向き合う船出

昨年、全国で一級建築士製図試験に挑んだのは、前年より655名減の8,653名で、その中から合格を手にしたのは、3,673名、実受験者数30,648名に対して、合格率は、わずか12.0%という結果でした。この狭き門を見事突破した道内の合格者81名のうち、交付式には、函館市や幕別町といった遠方からも含め、25名の出席がありました。冒頭、緊張した面持ちの出席者を前に高野会長は、合格に対し、心からの祝意を述べるとともに、2005年に発覚した構造計算書偽装問題に触れ、「一級建築士は、建築に係る権限を国土交通省から負託されています。すなわち、国民に対して、たいへん重い『責任』を負っています。今は、まだ、実感がないと思いますが、この『責任』を果たすべく、常に自己研鑽に努めていただきたい。」と激励しました。さらに、平向 北海道建設部住宅局長から祝辞をいただいたのち、高野会長から一人ひとりに免許証明書が授与されました。晴れて一級建築士となった出席者は、引き続き、倫理編、実務編と二部構成のセミナーを受講し、早速、自己研鑽を実践しましたが、とくに、「倫理」に関して、真剣な眼差しを送っていたのが印象的でした。その後、場所を変えて執り行われた祝賀会は、出席者が11名と少なかったものの、交付式とは一転、緊張も解け、たいへん和やかな雰囲気のもと、出席者は懇親を深めながら、あらためて、合格の喜びを共有していました。青年委員会による余興では、出席者が

合格までの苦労話をユーモラスに吐露する場面もありました。最後に、石塚 青年委員長が士会の活動をPRし、一本締めを行い、閉会となりました。

情報委員会副委員長 森 勝利



一級建築士の免許証授与



セミナー受講の様子



祝賀会出席者と高野会長

## 設計士から建築士へステップアップ

平成28年二級建築士試験に合格したのは全国で5,920名。道内では172名でした。その中で24名の方が、免許証交付式に出席されました。札幌・近郊が多い中、遠くはえりも町、浦河町、旭川からとご足労いただきました。最初に高野会長からお祝いのご挨拶及び「北海道建築士会」の主旨と各種活動内容などの紹介がありました。続いて北海道建設局建築指導課の大野課長から祝辞をいただきました。

地震大国日本に触れ、建築士免許証を手にした皆さんにも「応急危険度判定委員」に登録していただきたい。道内には3,000人の登録者がいる中、一番多いのは公務員で70名。今回の熊本への派遣やボランティア活動も行っています。皆さんにもこれを機に、地域のまちづくりやそれぞれの立場に立って、情報交換を活発にし、今後の活躍を期待したい。と述べられました。いよいよ免許証の交付式です。高

野会長より一人一人手渡されました。引き続き「倫理編」休憩をはさんで「実務編」のセミナーです。講師は北海道建築士会札幌支部の長谷川支部長です。建築士の業務は資格を取ってからの実務が勉強だということ。監理業務とは、工事を監理する・設計を監理することで、責任は大きいということ。契約に関しては「言った・言わない」は無いように書類で契約すること。これには具体的業務内容、報酬、責任の取り決め（天災・災害は除くことも書面に残す）など、後々問題にならないよう盛り込むことなど、大変実のあるお話でした。

さて、セミナーの後は祝賀会です。何名かが帰られました。15名が参加してくださいました。少しは緊張もほぐれた様子ですが、遠慮がちな皆さんをテーブルへご案内し、名刺交換もさせていただき、共に合格を喜びました。そしてまた、4年後の一級建築士の交付式でお会いしましょうと。

情報委員会委員 柳山美保子



高野会長ご挨拶



大野課長より祝辞



二級建築士の免許証授与

## まちづくりの輪

### まちづくり委員会

委員 高橋 真美 (北見支部)



平成28年まちづくり委員会は、“まちづくりの輪”を広げるという針ヶ谷委員長の掲げたスローガンの下、個性豊かな7名が集まりました。

まちづくりフォーラムの開催された苫小牧市、全道大会開催の室蘭市それぞれの地域で、まちづくりに携わる、商店街やものづくりの人、音楽イベント実行委員から、歴史・景観に取り組む人と高校生までを巻き込み、点在していた「まちのひと」の声をつなぐ、きっかけの“場”を作ってきました。

フォーラム終了後、委員達からは「10年後のこの街に来てみたい」という声が出るほどの達成感と、参加者からのアンケート回答では「また是非来てください」のお言葉は、とても嬉しく印象的です。

「景観まちづくり塾」～景観ウォッチングin札幌～(10月29日)では、札幌市資料館にて景観やまちづくりについてのガイダンスを行い、その後、大通公園周辺のまちあるき、札幌南区をバス見学後、豊平館の見学、広間での立食による交流会が行われました。ナビゲーターの札幌市立大学デザイン学部准教授 山田 良氏のご厚意により、自邸「中の沢川の家」には参加者30名をお招き入れて下さいました。受賞作品を印刷物やデータで見ることができても、実際にご家族が生活する空間を拝見できる機会は少なく、大変貴重な見学となりました。お子さんが自由に「隠れ基地」のようなスペースを造り、ご家族と共に成長してく住宅そのものでした。

通称「まち塾」はとても内容の濃い1日となっていて最後の交流会での皆さんの笑顔を見ればその満足度が伺える気がします。次回の機会があれば、皆様もぜひご参加くださいませ。

まちづくり委員会は、様々な事業で、建築士会員と市民、行政、学校等にある“まちづくり活動”の紹介や交流を図り、“まちづくりの輪”が広がるよう、知恵を絞り、汗をかき、飲んだり、と活動中です。

皆様も一緒に、まちづくり活動しませんか？



【委員会終了後の食事会】

## 「ひろげる つなげる」

### 青年委員会

委員 鈴木 光彦 (紋別支部)



29年度になり、平成25年より青年委員会に所属し、2期4年目となりました。今回は、石塚青年委員長が掲げた、今期の青年委員会の事業方針「ひろげる・つなげる」について少し話をしたいと思います。

「ひろげる」とは、一般の方々と関わりをもち、建築士(会)をアピールしていくことです。他団体や地域とともに、活動、交流をしていくことで、社会貢献、建築士(会)のブランド力アップを目的としています。

「つなげる」とは、次世代を担う子ども達に、建築やものづくりの楽しさ・すばらしさを伝えていくことで、建築士(会)の未来につなげていくことです。建築業界の若手不足・人員不足を解消していくことを目的としています。

28年度は「つなげる」に重点をおいた活動に力を入れてきました。例をあげると、青年委員会主導の「お仕事体験イベント」、函館支部の「マイ箸づくり」、十勝支部の「オビヒロホコテンでの木工づくり」などがありました。その中で第3回道南ブロック協議会の時に行われた、苫小牧市ドン・キホーテでの「お仕事体験イベント」では、道南ブロックの建築士会のメンバーだけではなく、苫小牧工業高校とのコラボレーションを実現させ、ともに活動することでより活発なイベントとなっていました。これは「ひろげる・つなげる」の両方を兼ねたものとなり、今後の活動に期待のもてるイベントとなりました。



【イベント風景 in MEGA ドン・キホーテ苫小牧店】

29年度は「ひろげる」に重点をおいた活動をしていくこととしており、建築士(会)の魅力を発信していきたいと考えているところです。青年委員会、各支部及び各ブロックでアイデアを出し合い、さらに活性化していければと思います。

これからも、青年委員会の活動をよろしく願っています。

## CPD認定プログラム(3月認定)

- ◆平成29年度現場代理人合同研修会  
 〈日程及び会場〉 4月17日(月)・18日(火) 9:00~17:00  
 北海道建設会館(札幌市)  
 〈単位数〉 各7単位  
 〈問合せ先〉 (一社)札幌建設業協会  
 TEL. 011-261-6182
- ◆リフルート工業会北海道支部主催 講演会  
 〈日程及び会場〉 4月27日(木) 14:00~16:30  
 札幌エルプラザ(札幌市)  
 〈単位数〉 3単位  
 〈問合せ先〉 リフルート工業会北海道支部  
 TEL. 011-728-1222

## 講習会のご案内

### 平成29年監理技術者講習

開催場所 (一社)北海道建築士会 事務局会議室  
 5月24日(水) 9月20日(水)  
 6月16日(金) 10月20日(金)  
 7月19日(水) 11月15日(水)  
 8月25日(金) 12月15日(金)

### 平成29年(一社)北海道建築士会会員作品の募集

#### 応募対象

- ①対象建物 平成25年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。  
 ②対象者 本会の正会員(応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります)  
 ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

#### 所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切 平成29年5月19日(金) 必着

#### 応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。  
 ②提出資料 図面(平面図・断面図・配置図等)及び完成写真(内・外装)等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。(応募作品は返却しません)

#### 作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.241」に掲載します。  
 ※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。

## 編集後記

ようやく日も長くなり、少しずつですが雪解けと共に春のおとづれが感じられる今日この頃ですが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか?

祝賀会取材報告にありましたが、28年度の道内での2級建築士合格者は172名と大変多いなと印象がありました。

会員の皆様の地域で新規会員を募り、北海道建築士会が更なる飛躍ができるよう皆様で活動を盛り上げていきましょう。

情報委員会 柏倉 晶憲(士別支部)

## 建築士試験関係

### 一級建築士試験

学 科 7月23日(日)  
 設計製図 10月8日(日)  
 対面受付 札幌市  
 5月11日(木)~15日(月) 5日間  
 函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市  
 5月12日(金)・15日(月)

### 二級建築士試験

学 科 7月2日(日)  
 設計製図 9月10日(日)  
 対面受付 札幌市  
 4月20日(木)~24日(月) 5日間  
 函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市  
 4月21日(金)・24日(月)

### 木造建築士試験

学 科 7月23日(日)  
 設計製図 10月8日(日)  
 対面受付 札幌市  
 4月20日(木)~24日(月) 5日間  
 函館市・旭川市・室蘭市・釧路市・帯広市  
 4月21日(金)・24日(月)

### 平成29年 専攻建築士認定状況

3月28日(公社)日本建築士会連合会専攻建築士認定評議会にて、下記の通り認定されました。

新規申請 3名(3領域)  
 更新申請 19名(24領域)  
 専攻建築士総数(北海道) 149名(176領域)

※平成30年専攻建築士申請受付は、平成30年1月4日~2月28日を予定しています。

※笠原爺イの釣り日誌はお休みします。

情報委員会委員長/早川 陽子  
 副委員長/齋藤 勝哉・高松 徹・森 勝利  
 委員/熊谷 智・柳山美保子・鈴木 雅人  
 柏倉 晶憲

### 北海道建築士 No.236号

印刷 平成29年3月/発行 平成29年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
 大五ビル  
 電話 (011)251-6076番  
 URL http://www.h-ab.com/

印刷 株式会社 正文舎  
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
 電話 (011)811-7151番